慣用句(中級)プリント1（ルビつき） No.33（ルビつき）

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1 慣用句の「顔を出す（短時間訪問する・出席する）」という意味で使われている文はどれですか？

- ○ 箱の中から子猫が顔を出す。
- ○ 鏡を見て、自分の顔を出す。
- ○ 忙しい中、友人がお祝いに顔を出してくれた。
- ○ 窓から顔を出すと、風が強くて危ない。

問2 「血も涙もない」の意味はどれですか？

- ○ 非常に悲しいことがあって泣きはらす
- ○ 激しい怒りで理性を失っている状態
- ○ 体調が悪く顔色がとても青ざめている
- ○ 思いやりや情け心が全くなく冷酷である

問3 「筆を執る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 作家が新しい小説のために筆を執る。
- ○ 重い筆を執って、床に落としてしまった。
- ○ 筆を執って、机の引き出しにしまった。
- ○ 習字の授業で、筆を執って洗った。

問4 先生は熱心な生徒に（　）をかける。（　）に入る言葉はどれですか？

- ○ 足
- ○ 目
- ○ 耳
- ○ 鼻

問5 「手玉に取る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 手玉に取るために、相手を力で押さえつけた。
- ○ 手玉に取るほど、ボールを高く投げた。
- ○ 彼は巧みな話術で、相手を手玉に取る。
- ○ 手玉に取るのが得意で、いつも遊んでいる。

問6 「鯖を読む」の意味はどれですか？

- ○ 相手の言葉を信じずに、疑いの目を持つ
- ○ 魚の数を数えて、正確に記録する
- ○ 古い情報を新しいものとして伝える
- ○ 自分に都合がいいように、数を適当にごまかす

問7 「高をくくる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 高い場所にある荷物を高をくくって取り出した。
- ○ 商品の高をくくって、レジで合計金額を計算した。
- ○ 荷物の高をくくって、トラックに積み込んだ。
- ○ 試験が簡単だと高をくくっていたら、悪い点数だった。

問8 「胸が騒ぐ」の意味はどれですか？

- ○ 胸のあたりが激しく痛む
- ○ 感動して心が震える
- ○ 悪い予感がして落ち着かない
- ○ 忘れられないほど心に残る

問9 「二束三文」の意味はどれですか？

- ○ 数が多くても非常に安いこと
- ○ 三つのものを二つにまとめること
- ○ 価値があるものを安く売ること
- ○ 二つのものを三つに分けること

問10 「胸に秘める」の意味はどれですか？

- ○ 胸の中に強い怒りや恨みを抱き続ける
- ○ 心の中にしまっておいて、人には言わない
- ○ 大切なものを胸のポケットに隠し持つ
- ○ 自分の気持ちを正直にすべて打ち明ける